

ユニバーサル就労ネットワーク栃木 設立趣意書

◆障害者以外にも、自分で働き口を見つけられない人が急増

昔は学校を卒業して、自ら就活して就職したり、失業してもハローワーク等で再就職先を見つけるのが当然とされてきた時代がありました。しかし、現在は、何らかの支援なしでは働く場を見つけられない人が急増しています。

これまでは働くための支援が必要なのは障害者に限定されており、障害者にはさまざまな就労支援制度が充実してきました。現在は、引きこもり、生活困窮、さらにはひとり親、若年性認知症、がん発症、LGBTsなど、働きづらさの要因が多様化、複雑化しています。

宇都宮にあるフードバンクでは、毎日、生活困窮者が食品を求めてやってきます。食べ物がない理由はさまざまです。多くの方は「適切なサポート」があれば困窮しなかったかもしれません。病気、失業、障害、孤立、ひとり親家庭、車がない、職場の人間関係が苦手、引きこもり、外国ルーツの人、80-50問題の当事者、低年金、刑余者・・・

◆ユニバーサル就労は「働きづらさをかかえた人」を職場に迎え入れる仕組み

ユニバーサル就労は、理由を問わず、働きづらい状態にある人を職場に迎え入れる取り組みです。栃木県内ではまだあまり取り組まれていません。先進地である千葉県では2014年から「ユニバーサル就労ネットワークちば」が活動を開始し、これまでに100人が就労しています。この取り組みを栃木県内で開始したいと思い、「ユニバーサル就労ネットワーク栃木（仮）」を設立しました。

◆SDGsの「働きがいも経済成長も」、「みんなで取り組む」

SDGsの中にも、誰もが働ける場をつくること「働きがいも経済成長も」という項目があります。これは、福祉だけが、企業だけが、行政だけが個別に対応していても実現できません。さらにSDGsの17番目の「みんなが力を合わせ、一緒に」とりくむことが必要です。

◆「つなぐ」役割になります。ーネットワークと中間支援ー

そのためには、複数の企業・事業所とネットワークを作り、多くの「働きづらさを抱える人」の伴走支援をし、両者を適切に「つなぐ」役割ー中間支援組織（センター）ーが必要です。みんながいきいきと働ける働きがいのある栃木を創るために、みなさんもぜひユニバーサル就労ネットワーク栃木に参加してください。

■設立準備委員会

コラボワーク（企業組合 とちぎ労働福祉事業団）

とちぎコープ生活協同組合

一般社団法人 栃木県若年者支援機構

認定NPO法人 とちぎボランティアネットワーク

公益財団法人 とちぎYMCA

一般社団法人 社会福祉士事務所にじみる

八幡山法律事務所

社会福祉法人 ふれあいコープ

NPO法人 フードバンクうつのみや

一般社団法人 南栃木社会福祉士事務所

■事務局/栃木県宇都宮市塙田 2-5-1 共生ビル3F（とちぎボランティアネットワーク内）

電話 028-622-0021